



緑誠だより

2025年8月22日 発行
医療法人 札幌緑誠病院

～夏の名残を感じて～

北海道の夏もそろそろ名残の季節。

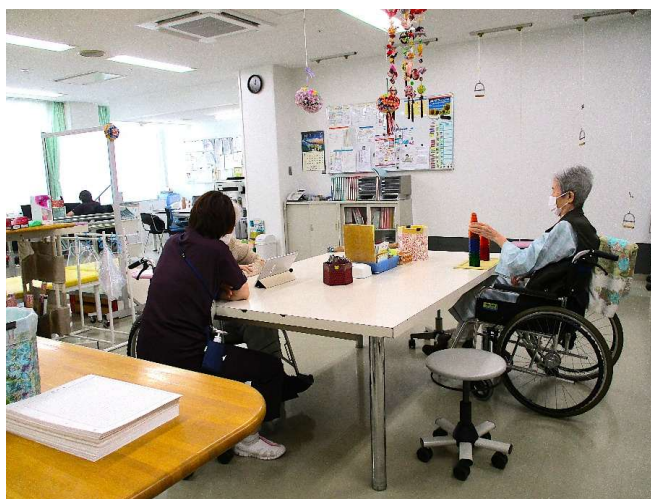
やわらかな日差しに包まれ、緑が穏やかに輝いています。

心地よい風にふと深呼吸すると、夏のひとときがそっと心を明るくしてくれますね。

今回は、リハビリに励む皆さんの様子や、患者さんが作られた素敵な作品をご紹介します。



～リハビリ室の風景～



机を使った作業リハビリでは、
指先や腕の動きを使いながら集中して取り組まれていました。
身近な道具を使ったリハビリは、日常生活の動作に直結しており、
少しずつ“できること”が増えていく喜びを実感できます。



風船を使った運動は、楽しみながら体を動かせるリハビリのひとつです。
腕や体幹の動きを自然に引き出すことができ、
運動効果だけでなく笑顔や会話が生まれます。
リハビリ室には和やかな雰囲気が広がっていました。



平行棒を使った歩行練習では、
一步一步を丁寧に確認しながら進みます。
スタッフが寄り添い、安全に配慮しながら支えているので、
安心して取り組みます。
小さな積み重ねが大きな自信につながっていきます。



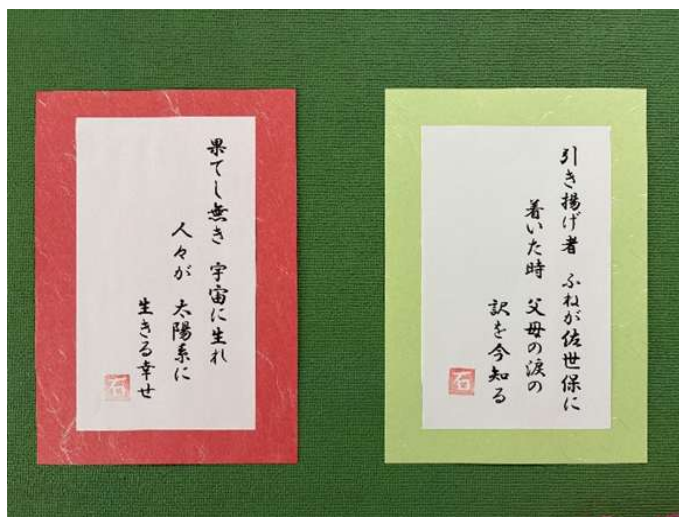
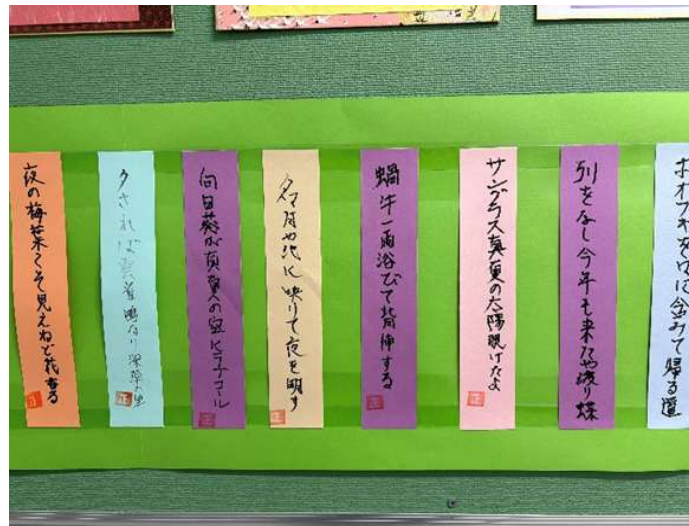
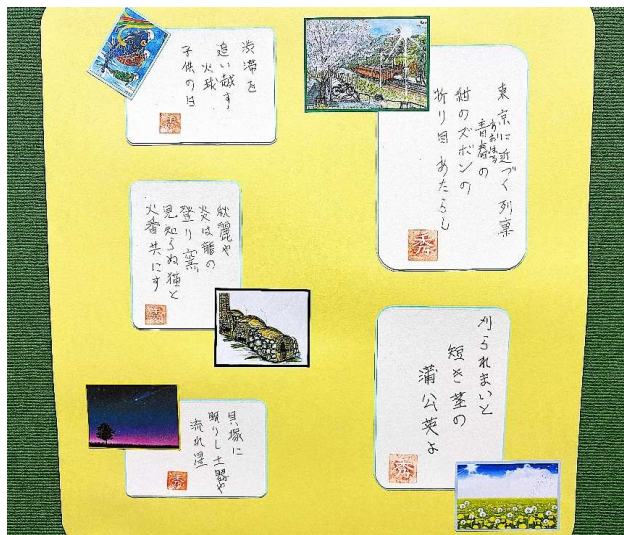


緑誠だより



2ページ目

～患者さんの作品紹介～



皆さんが作られた作品には、日々の小さな気づきや季節のうつろい、ほっとするひとときがそっと詰まっています。
ひとつひとつの言葉からは、やさしさや温かさが伝わり、読むと自然と笑顔になってしまいます。
作品を通して、それぞれの方の思いや工夫がふんわり心に届き、こちらも元気をもらえる気がします。
こうして皆さんの気持ちや想いに触れる時間は、心をそっと和ませてくれる大切なひとときです。

編 集 後 記

今月も緑誠便りをご覧いただき、ありがとうございました。
リハビリや作品を通じて、患者さんの前向きな姿をお伝えできたことをうれしく思います。
これからも安心して療養いただけるよう、職員一同努めてまいります。

H.S

